



### 著者プロフィール

佐藤郁良（さとう・いくら）本名 佐藤 郁（かおる）

昭和43年 東京生まれ  
平成13年 句作開始。高校教諭として俳句甲子園に初引率  
以後、六年連続出場。優勝二回、準優勝二回に  
導く  
平成15年 「銀化」入会  
平成18年 「銀化」同人新人賞受賞  
現 在 「銀化」副編集長。開成高等学校教諭

〈句集『海図』より転載〉〈2007年7月19日時点〉

### 『海 図』（自選十五句）

佐藤 郁良

あたたかや幸といふ字のシンメトリー  
母の手をふり切つてゆく五月かな  
部屋いつばい広げし海図小鳥来る  
春愁に山手線といふ居場所  
葎火に吸ひ寄せられし春の間  
遇ふ人の語尾うつくしき清水かな  
大根にしみ入るやうに論しけり  
不可能を辞書に加へて卒業す  
理科室の劇薬に夏来たりけり  
東の間の原色を売る夜店かな  
あめんぼの増えてほんとの雨になる  
駅一つ花野の中に葬らる  
木犀の零れて水の走り出す  
千歳飴海の深さを尋ねけり  
少年老い易く双六上がりけり